

令和7年度 第1回 静岡県立浜北西高等学校 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年6月16日(月) 午後1時30分から午後3時まで

2 場所 静岡県立浜北西高等学校 会議室

3 出席者

○委員【敬称略】

梅林欽哉(元小学校・中学校管理職)、阿部卓也(静岡県議会議員)、
横田みどり(横田整形外科婦長)、中津川智美(常葉大学経営学部教授)、
金島徹(浜名区調整官、元西区副区長)、松本幸範(浜北国際交流協会副会長)、
森下晃行(農業起業家/TATSUJIN 株式会社) <本日欠席>

○学校関係者

野澤博文(校長)、小室桜子(副校長)、榎本好孝(教頭)、中村明江(事務長)

4 議事

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 学校運営協議会委員・学校関係者自己紹介

(4) 授業参観

(5) 令和7年度学校経営計画(校長)

(6) 令和7年度の取組【三大事業①DXハイスクール②行きたい学校づくり③グローバルハイスクール】について(副校長)

(7) 部活動等近況報告について(教頭)

(8) 協議(各委員からの本校に対する助言等)

- ・授業見学では、先生方の授業が工夫されていて、面白いと感じる授業が多かった。全体的に、生徒はおとなしい感じがしたが、分からないことを分からないと言い出せない子も多いのではないかな。
- ・生徒は、小さくまとまろうとしているので、例えば、外へ出て本物を見たり、異年齢の人たちと関わったりする経験を積むとよいのではないかな。
- ・地域や同窓生は、地元愛が強いので、一緒に本校をよくしていこうと積極的に発信していくべきである。また、そういう人たちの支援を上手く利用するとよい。
- ・地域では、少子化が著しく進行している現実がある。この問題は、地域だけ、学校だけで解決できる問題ではない。皆が力を合わせなければ、到底解決できない。地域の人口を増やし、魅力的な地域となるために、そして明るい未来が見えるようになるために、本校においては、人との関わり合いを大切に、温かい気持ちを育ててほしい。
- ・少子化が進む今だからこそ、本校の特色を前面に出して、攻めに転じるべき。
- ・「浜北西高校＝国際教育」というイメージがある。現に、本校は留学生を多く受け入れたり、タイ交流に行ったり、外国人と抵抗なく話をすることができているのではないかな。これは大きな特色であると思う。

(9) 閉会